

## 〈資 料〉

## 和牛産肉能力検定(直接法:2019年度)

片岡博行

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Hiroyuki KATAOKA

## 要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、(公社)全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

- 1 2019年度には7頭の直接検定を実施し、全頭が終了した。
- 2 検定終了牛の1日当たり平均増体量(DG)は、1.08kg、平均審査得点は83.1点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「藤広花」及び「福乃茂」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：和牛、黒毛和種、種雄牛、産肉能力検定(直接法)、増体量

## 緒 言

優良種雄牛を作出するため、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性が期待される雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものを検定対象牛として選抜した。

2019年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると、「藤沢茂」及び「新岡光81」の産子が2頭、「第12西丸」、「黒金糸藤」及び「福之姫」の産子が各1頭の計7頭であった。また、表2にそれぞれの検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

## 材料及び方法

## 1 検定種雄牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された

表1 検定牛の概要

セットNo.	名号	生年月日	登録番号	血 統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H31-1-1	藤親月	2018.10.11	2018子岡黒4396	藤沢茂	第7かんげつ14	花茂勝2	津山市	2019.05.01 ~ 2019.08.21
H31-1-2	清泉丸	2018.08.19	2017子受卵岡黒2051	第12西丸	さなえ8	沢茂勝	美咲町	〃
H31-2-1	新糸藤	2019.02.08	2018子受卵岡黒1136	黒金糸藤	はついやさかえ	新初英	美咲町	2019.08.28 ~ 2019.12.18
H31-2-3	藤広花	2018.12.13	2018子受卵岡黒2716	藤沢茂	ひろはなや	茂洋	美咲町	〃
H31-3-1	45光玉2	2019.04.23	2019子岡黒5383	新岡光81	45たまはな1	第1花国	新見市	2019.11.20 ~ 2020.03.11
H31-3-2	福乃茂	2019.04.15	2017子受卵岡黒1138	福之姫	ひろはつはな	茂洋	美咲町	〃
H31-3-3	波乃光	2019.04.09	2018子受卵岡黒920	新岡光81	第45たま8の1	茂波	美咲町	〃

表2 検定牛の概要

セットNo.	名 号	(kg, cm <sup>2</sup> , cm, 脂肪交雑基準値)							
		期 待 育 種 価				脂肪交雑			
		枝肉重量		ロース芯面積		バラの厚さ		脂肪交雑	
H31-1-1	藤観月	55.877	(B2)	17.094	(A1)	0.780	(B2)	1.536	(B2)
H31-1-2	清泉丸	19.027	(C)	7.583	(C)	0.337	(C)	1.332	(C)
H31-2-1	新糸藤	36.536	(C)	7.382	(C)	0.558	(C)	1.527	(B2)
H31-2-3	藤広花	73.253	(A3)	19.769	(1%)	0.520	(C)	1.746	(A3)
H31-3-1	4 5 光玉 2	74.658	(A2)	15.678	(A2)	0.976	(A3)	2.209	(5%)
H31-3-2	福乃茂	71.512	(A3)	15.525	(A2)	0.690	(B2)	2.240	(5%)
H31-3-3	波乃光	43.459	(C)	12.741	(B1)	1.064	(A2)	2.019	(A1)

( )内は、下記のランクを示す。

(1%): 上位1%以上 (A1): 10%以上 5%未満 (B1): 1/3以上25%未満 (C): 平均未満

(3%): 3%以上1%未満 (A2): 15%以上10%未満 (B2): 平均以上1/3%未満

(5%): 5%以上3%未満 (A3): 25%以上15%未満

なお、育種価は第50回育種価（2019.11.1公表）による。

## 2 検定方法

(公社)全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法(直接検定)<sup>1)</sup>に従い、次のとおり実施した。

(1) 検定開始月齢：6～7カ月齢

(2) 検定期間：112日間

(3) 検定飼料及び給与方法

濃厚飼料：直接検定用飼料を  
体重比 1.0～1.3%制限給与  
可消化粗タンパク質(DCP) 12.5%  
可消化養分総量(TDN) 70.5%

粗飼料：チモシー乾草を飽食

## 3 調査項目

平均増体量(DG)、365日齢補正体重、飼料摂取量、体重(2週間毎)、各部位測尺(4週間毎)、終了時審査得点

### 検定成績

2019年度に検定が終了した7頭について検定成績を表3に示した。

#### 1 増体量

DGは、最高が「清泉丸」及び「4 5 光玉 2」で1.22kg、最低が「波乃光」の0.85kg、平均1.08kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高が「清泉丸」497.6kgで、最低が「新糸藤」394.0kgであり、平均435.2kgであった。

#### 2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量のうち、タンパク質関連は粗タンパク質(CP)で表示され、最高119kg「清泉丸」、最低84kg「藤観月」であり、平均101.9kgであった。飼料摂取量のうちTDNは、最高656kg「清泉丸」最低464kg「新糸藤」であり、平均519.7kgであった。

また、粗飼料摂取率は、最高が55.4%、最低が52.2%であり、平均は54.1%であった。

#### 3 終了時の発育及び審査得点

体高の最高は134.0cmの「清泉丸」で、最低は「藤観月」の120.6cmであり、平均は126.0cmであった。(公社)全国和牛登録協会の定める和牛発育標準(雄)に基づく発育判定では「5-(4)」が3頭、「4-(5)」及び「3-(5)」が2頭であった。

また、審査得点は、最高が「福乃茂」の84.9点で、最低82.1点が「4 5 光玉 2」であり、平均は83.1点であった。

#### 4 候補種雄牛の選抜

直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に検討した結果、2019年10月21日開催の岡山県和牛改良委員会において、「藤広花」を、2020年3月16日開催の同委員会において、「福乃茂」を、候補種雄牛として選抜した。

表3 検定成績結果

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発 育			審査得点
				CP	TDN		体高	(σ 値)	発育判定	
H31-1-1	藤観月	1.06	416.1	84	465	55.0	120.6	0.2σ	3-(5)	82.7
H31-1-2	清泉丸	1.22	497.6	119	656	54.6	134.0	2.9σ	5-(4)	82.5
セット平均		1.14	456.9	101.5	560.5	54.8	127.3	1.6σ		82.6
H31-2-1	新糸藤	0.98	394.0	94	464	55.0	121.8	0.6σ	4-(5)	82.4
H31-2-3	藤広花	1.03	419.9	108	534	52.2	129.0	1.3σ	4-(5)	82.9
セット平均		1.01	407.0	101.0	499.0	53.6	125.4	1.0σ		82.7
H31-3-1	45光玉2	1.22	442.2	98	485	54.3	122.0	0.4σ	3-(5)	82.1
H31-3-2	福乃茂	1.21	463.1	110	542	55.4	126.8	1.6σ	5-(4)	84.9
H31-3-3	波乃光	0.85	413.8	100	492	52.4	128.0	1.9σ	5-(4)	83.9
セット平均		1.09	439.7	102.7	506.3	54.0	125.6	1.3σ		83.6
2019年度平均		1.08	435.2	101.9	519.7	54.1	126.0	1.3σ		83.1

## 文 献

- 1) 公益社団法人全国和牛登録協会編(2018): 和牛登録事務必携(2017年度版), 176-178.

